社会福祉法人玉山秀峰会　条件付一般競争入札心得

社会福祉法人　玉山秀峰会

　１　入札書記載金額

（１）落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の１００分の１０に相当する額を加算した金額（当該金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に関わる課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の１１０分の１００に相当する金額を入札書に記載すること。

（２）金額は、アラビア数字を用い記入すること。

（記載例　￥１,２３４,５６７,０００－　又は　金１,２３４,５６７,０００円）

　２　入札等

（１）入札参加者は、代理人に入札させるときは、その委任状を持参のうえ入札前に入札執行者に提出しなければならない。

（２）入札書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

ア　入札年月日

イ　頭書に「入札書」である旨記載

ウ　入札金額

エ　委託業務の名称

オ　宛名（社会福祉法人玉山秀峰会　理事長　岡本宗明　とする。）

カ　入札参加者の所在地、商号又は名称、代表者職氏名

（３）電送及び郵送による入札は認めない。

　３　入札の無効

次の各号のいずれかに該当する入札は無効とする。

（１）民法（明治29年法律第89号）第90条（公序良俗違反）、第93条（心裡留保）、第94条（虚偽表示）又は第95条（錯誤）に該当する入札

（２）委任状を持参しない代理人のした入札

（３）誤字、脱字により意思表示が不明瞭である入札

（４）入札書の記載事項に誤り、漏れがある入札

（５）金額を訂正した入札

（６）談合その他不正行為によって行われたと認められる入札

（７）同一業務の入札について他人の代理人を兼ね、又は2者以上の代理をした者の入札

（８）虚偽の申請により資格を得た者のした入札

（９）その他入札に関する条件に違反した入札

　４　落札者の決定

（１）有効な入札を行った者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札した者を落札者とする。

（２）開札の結果、落札となるべき同価格の入札をした者が２者以上あるときは、直ちに、当該入札をした者にくじを引かせて落札者を決定する。この場合において、当該入札をした者のうち、くじを引かない者があるときは、当該入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

　５　再度入札

（１）前項により開札をした場合において予定価格の範囲内の価格の入札がない場合は、直ちに再度の入札を行う。

（２）再度の入札でも落札者が決定しない場合は、入札を打ち切り最低入札者と協議し落札者を決定する。協議の結果、双方価格の折り合いが合えば落札したものとして取り扱う。ただし、この場合であっても予定価格を上回ることはできない。

　６　入札の辞退

（１）指名を受けた者は、入札書の提出に至るまでは、いつでも入札を辞退することができる。ただし、提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることはできない。

（２）指名を受けた者が、入札を辞退するときは、次に掲げるところにより申出なければならない。

ア　入札執行前にあっては、入札辞退届（任意）を直接持参又は郵送（入札日の前日までに到着するものに限る。）すること。

イ　入札執行中にあたっては、入札辞退届又はその旨を明記した入札書を、入札を執行する職員に直接提出すること。

　７　公正な入札の確保

（１）入札参加者は、刑法（明治40年法律第45号）、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。

（２）入札参加者が連合し、若しくは不穏な行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるとき、又は災害その他やむを得ない理由があるときは、入札の執行を延期し、若しくは取りやめることができる。

　８　契約の成立要件

契約は落札者と決定された者と締結するが、当該契約が確定するまでの間において、当該落札者が次に掲げるいずれかの事由に該当した場合は、当該落札者と契約を締結しない。

（１）会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく会社更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされている場合

（２）その他契約を締結することが適当でないと認められる場合

　９　異議申立て

入札参加者は、入札後この心得その他の入札条件の不知又はその条件の内容の不明を理由として異議を申し立てることはできない。